



## 講演する石井会長

石井土木学会  
会長が講演

## 公共投資削減に警鐘

十二木学会は13日、広島県東広島市の広島大学東広島キャンパスで、会長基調講演とパネルディス

カッショングを開いた。大  
会実行委員長の甲村謙友  
国土交通省中国地方整備  
局長は、開会のあいさつ  
で1981年に米国で出

カツシヨンを開いた。大  
会実行委員長の甲村謙友  
国土交通省中国地方整備  
局長は、開会のあいさつ  
で1981年に米国で出  
版された『荒廃するアメ  
リカ』に触れ、「数字と  
言葉を換えると、いまの  
日本に当てはまる」と指

摘要、これ以上の公共投資削減に警鐘を鳴らした。

石井赳夫会長は、会長提言特別委員会で検討している社会資本の国政調査・健康診断について、中間段階の状況を報告した。石井会長は、公共事業に対する国民の批判に

国民に社会資本の現状を正しく理解してもらうために土木学会が、学術的、中立的、客観的な立場から調査して、問題点を提起するとともに、「適正な公共投資の水準について社会的な議論を喚起したい」と強調した。

ここで、マスメディアによる間違った報道、談合など反コンプライアンス（法令順守）的行動、社会資本が既に一定水準に達したという国民の認識に加え、土木技術者が積極的に発言しなかつたことを要因に挙げた。

国民に社会資本の現状を正しく理解してもらうう

第一段階として、代表的なインフラである河川と道路を取り上げる。暮らし、安全、環境、活力の4つを評価指標に、木学会の支部単位で、ABCDEの5ランクに分けて評価する考え方を明らかに

第一段階として、代表的なインフラである河川

減少下における地域の活性化向上をめざして」と題して議論した。

会長は、こうした活動を通じて、「土木技術者が社会的に発言することが最大のポイントだ」と強調した。パネルディスカッションは、甲村局長をコーディネーターに、大会のテーマである「人口減少下における地域の活力向上をめざして」と題して議論した。

かにした。

19年 9月 14日

建設通信新聞